

つばさ静岡入所中の皆さま、ご家族の皆さまへ

— 新型コロナウイルスに感染した場合の対応について —

令和2年5月28日

施設長 山倉慎二

現在、つばさ静岡では、利用者さまの新型コロナウイルス感染防止のために、診療制限や感染対策の徹底を継続しており、ご家族の皆さまには、ご心配ご不自由をおかけしております。

感染者数は減少しつつありますが、まだまだ予断を許さない状況で、第2波への対策を講じておく必要があります。幸いにも当施設内では現時点まで利用者、職員ともに陽性者の報告はありませんでしたが報道されている通り、他の医療機関や入所施設でのクラスター感染が次々と生じています。このような状況をふまえて、当施設での新型コロナウイルス感染発生時における利用者さまへの治療方針に関してご説明をさせていただきたく、ご連絡申し上げます。

以下の治療方針についてご理解いただきますよう、お願いいたします。

① ウイルス陽性が確認された場合 —原則、指定された急性期病院に転院となります

新型コロナウイルス感染症は指定感染症に分類されており、陽性と判明した時点で入院が必要となります。当施設は、医療者が常駐し医療設備も兼ね備えておりますが、指定感染症の治療に対応している病院(指定病院)ではありません。したがって、当施設に入所中の方が感染された場合は、保健所の指示に従い、原則として転院していただくこととなります。転院時には当方からご家族の希望をお伝えしますが、治療方針は転院先での判断となります。

転院先の病院の状況によっては、人工呼吸管理などのご家族の希望に沿った治療を受けることができない可能性があります。

② 転院先が決まるまで —施設内の、別のスペースに移動していただきます。 上記のように、陽性が確認された場合は転院が原則ですが、入院病床が不足している場合は、保健所の調整により転院先が決まるまで、時間がかかる可能性が考えられます。その間、感染されていない他の利用者さまと隔離するために、施設内の別のスペースに移動していただきます。担当のスタッフが変更になり、ふだんの日常生活とは異なる支援体制となります。予めご了解ください。

厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症の診療の手引き」に従い治療致しますが、当施設は、新型コロナウイルス感染症の治療に対応できる設備や医療器具、防護具を備えていません。それらは全国的に不足していて、入手困難な状況です。転院先が決まるまでは、抗ウイルス薬の投与や点滴、酸素投与などの治療にあたりますが、指定病院のような、より高度な感染症治療はできないことをご理解ください。

② 転院ができない場合 —集中治療室(ICU)と同等の治療はできません

報道されていますように、感染者受け入れ指定病院のベッドが満床となった場合は、転院治療は難しく、当施設内の臨時の感染専用スペースでの治療となります。指定病院が備えている感染症治療に対応する設備(陰圧室など)や医療機器(新型コロナウイルス感染症に対応できる人工呼吸器など)が備わっておらず、あらたに人工呼吸器治療を行うことはできません。最善を尽くす所存ではありますが、指定病院と同等な治療ができないことをご理解ください。

ご家族の皆さまには、ご心配にお感じのところもあるかと存じますが、感染症指定病院とは機能や役割が異なる当施設の医療体制や、新型コロナウイルス感染症の当施設の治療方針について、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルスに感染した場合に、[抗ウイルス剤のアビガン\(下記説明*\)](#)など、有効である可能性のある薬を使用できるよう、準備を進めております。これらを使用する場合には、本人もしくはご家族からの同意が必要となります。

これについて、あらかじめ同意書をいただき、万全の備えをしておきたく存じます。

[下記の説明文をお読みいただき、同意書に記入の上](#)で、必ず返送いただきますよう、お願い致します。

今後とも、当施設職員一同、一丸となりまして、感染予防に尽力し、利用者の方々の健康をお守りするよう努めて参ります。ご理解、ご協力のほどをお願い申し上げます。

なお、別紙でご案内しております同意書のことなども含めて、ご質問などございましたら、ご遠慮なく医師へお問い合わせください。

*抗ウイルス薬アビガンについて

アビガン(ファビピラビル) 未承認新規医薬品

本来は抗インフルエンザ薬として開発され、新型コロナウイルスへの効果は未だ実証されていません。抗インフルエンザとして5日間使用した場合の副作用は、下痢(4.79%)、検査値の異常(血中尿酸増加4.79%、好中球減少症1.8%)、肝機能障害(GOT増加1.8%、GPT増加1.6%)等です。

肝機能障害患者に投与する場合は、投与前にリスクを十分検討の上、慎重に投与し、投与後は観察を十分に行います。

動物実験では催奇形性が認められており、妊娠の可能性のある女性には投与できない薬剤です。

これ以外にも予測できない症状が出る可能性があります。それを防ぐために、検査を行うなど担当医師が十分な診察を行いますが、予測できない副作用が出る可能性があることをご理解ください。

実際に使用する際には改めて医師より説明し、再度同意を得たうえで使用開始します。

いったんこの治療を受けることを同意した場合であったとしても、いつでも同意を取り下げることができます。

同意書

(未承認新規医薬品等の使用について)

重症心身障害児施設つばさ静岡
施設長 殿

使用薬品名:ファビピラビル(アビガン錠)

このたび上記の医薬品を用いた治療をうけるにあたり、医師から説明を受け、内容を理解しましたので、この治療を受けることに同意いたします。

なお今回の治療を受けることは、あくまでも家族の同意に基づくものであり、いつでも家族の意思によって中止できることを理解したため、ここに同意し署名します。

同意年月日: 年 月 日

本人氏名【
代理人氏名【(署名)】